［吉敷ふれあい標語2022］　あいさつの　リレーでつなぐ　吉敷の輪

吉敷の木「もみじ」
吉敷の花木「うめ」
吉敷の草花「マリーゴールド」
吉敷の草花「サルビア」

ふるさとだより よしき

FURUSATO DAYORI　YOSHIKI

2022
1
No.790

よしきっ子へプレゼント持ってきたよ!
おやこクリスマス会

日頃の活動の成果を披露
第46回吉敷ふるさとまつり

頑張れ小森選手!
東京ヤクルトスワローズ新入団選手発表会

車列を組み交通安全とうそ電話詐欺防止の啓発活動
交通安全・防犯対策協議会

CONTENTS

インフォメーション……2,3
読者発なんでも広場……3
【トピックス❶】
「肥中街道」の保存と地域交流に取り組んでいます……3
【トピックス❷】
「子どもたちに夢を」頑張れ小森航大郎選手!……4
【トピックス❸】
吉敷バレーボールスポーツ少年団マルキュウカップ出場!……4
【トピックス❹】
神秘の蝶「アサギマダラ」と「フジバカマ」の魅力……5
レポート……6
みんなで防災……6
健康レシピ……7
リレーエッセイ……7
イベントカレンダー……8
かけはし……8

よしき人

YOSHIKI DATA　【人口】14,732（前月比 +20）　【世帯数】6,395（前月比 +13）　令和3年12月1日現在

インフォメーション

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

育児相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。

とき 1月12日(水) 13時30分～14時30分(受付時間)
場所 地域交流センター 和室
申込 不要
準備 母子健康手帳
問い合わせ 市子育て保健課
☎083-921-7085

吉敷ふれあい標語2022が決定

今年度も地域の標語を募集し、審査の結果、岡村恵美子さん(稲葉)の作品が選ばれました!

「ふるさとだより よしき」の今月号から12月号まで表紙を飾ります。

子育て講座「ベビーマッサージ」

目と目を合わせて、心地よいスキンシップの時間を過ごしませんか?

赤ちゃんもママもリラックスできるマッサージ方法を学んで寒い冬を乗りこえよう!!

とき 1月17日(月)
①10時～10時45分
②11時15分～12時
場所 地域交流センター 和室
対象 寝返り前の赤ちゃんと保護者各6組(先着順)
講師 澤野 佑希 氏
託児 有(要申込)
準備 バスタオル、おむつ
主催 母子保健推進員
申込・問い合わせ 地域交流センター
☎083-922-3915

つどいの広場「楽楽楽」講座「みそ作り」

みんなでみそ作りにチャレンジしましょう!親子で楽しく作れます☆

とき 1月26日(水) 10時30分～12時
場所 吉敷つどいの広場「楽楽楽」
対象 未就園児と保護者 6組
参加費 800円／一家族(材料代込み)
持ち物 エプロン、三角巾、マスク、飲み物、汚れてもいい服装
申込・問い合わせ つどいの広場「楽楽楽」
☎083-928-0035

子育て講座「絵本を楽しもう」

おしゃべりをしたり、絵本を読みながら楽しい時間を過ごしましょう!

とき 1月28日(金) 10時～11時30分
場所 地域交流センター 和室
対象 未就園児と保護者
時間内は出入り自由。混み合う場合は、入室をお待ちいただくことがあります。
申込 不要
主催 母子保健推進委員
申込・問い合わせ 地域交流センター
☎083-922-3915

春までに習得♪着物教室

名古屋帯で角だし結びをしませんか!紬や小紋の着物を着て角だし結びでおしゃれにお花見してみたいと思いませんか♪

初心者の方も歓迎。お気軽にご参加ください。

とき 計5回 いずれも13時～15時
1月29日(土)、2月5日(土)、2月26日(土)、3月12日(土)、3月19日(土)
場所 吉敷地域交流センター
対象 着物を着てみたい女性5名
講師 田中 美代子(下東)
準備 肌襦袢、足袋、長襦袢、補正用白タオル3枚、腰紐4本、コーリンベルト1本、伊達締め2本、衿芯、帯板、洗濯ばさみ2個、着物、名古屋帯、帯揚げ、帯締め
※無い方は応相談
申込・問い合わせ 地域交流センター
☎083-922-3915

つどいの広場「楽楽楽」講座「節分あそび」

寒さに負けず元気よく鬼退治をしましょう!工作遊びもあります。

とき 1月28日(金) 10時～11時30分
場所 吉敷つどいの広場「楽楽楽」
対象 未就園児と保護者 10組
参加費 100円／一家族
持ち物 飲み物
申込・問い合わせ つどいの広場「楽楽楽」
☎083-928-0035

令和4年度(令和3年分)市・県民税申告相談

市・県民税の申告相談を実施します。

とき 2月1日(火) 9時30分～16時
場所 吉敷地域交流センター 講堂
準備 営業・農業・不動産等の「収支内訳書」の提出や医療費控除の申告をされる方は、事前に集計をお願いします。
問い合わせ 市市民税課 市民税担当
☎083-934-2735
※電話が繋がりにくい場合があります。時間をおいておかけ直しください。
※他会場の日程については、「わたしたちの市税(市報1月合併号と同時配布)」をご覧ください。

日本ボッチャ選手権大会出場!!

大林有利さん（下東）

令和4年1月7日（金）～9日（日）に愛知県豊田市豊田スカイアリーナで開催される「第23回日本ボッチャ選手権大会」に、大林有利さん（下東）が出場されます（出場種目は、個人戦BC3）。

大林さんは、第21回（2019年）の大会でベスト8入りし、第22回大会（2020年）のシード権を獲得しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により大会中止となりました。今回の大会は、第21回大会の上位成績者が地区予選なしで激突します。

東京パラ大会出場選手をはじめとする日本トップ選手同士が競う今大会。大林さんは強豪との戦いを楽しみに、仲間たちと日夜練習に励んでいます。その活躍を期待し、吉敷から声援を送りましょう！

読者発 なんでも広場

最近、吉敷には、国道9号沿いの「維新ナインテラス」など、多くのお店が開店していますね。

中村地区には、屋根が緑で、赤い家に「ストロベリー・タイム」の看板が出現しました。実は、自然の野菜を豊富に使い、ふれあいを大切にする、家庭的な雰囲気のパン屋さんです。週の後半を販売に、前半はパン作り講習会をしているんです。そして来春は、子どもたちが作ったパンを販売する企画もあるそうですよ。

内田 信行（木崎）

TOPICS トピックス 1

「肥中街道」の保存と地域交流に取り組んでいます

吉敷では、大内氏が海外貿易のために整備した、道場門前から吉敷を経て豊北町の肥中港に至る「肥中街道」を、吉敷の貴重な歴史の道として、保存と地域交流に取り組んでいます。

大峠における竹の伐採

「肥中街道」の大峠付近の整備を始めてから、はや4年が経ちます。

沿道添いに竹が多く茂るこのあたりの整備に関しては、山仕事が専門の方から竹藪の膨張を食い止めるには3年間は継続して竹を切り取るようにと助言を得ていました。

また、竹藪伐採のおかげで大峠の頂上付近には、幕末のころ設けられていた関所の跡地らしき広場が見えてきました。

そこでこの度、文化振興協議会の有志が竹の伐採に出かけました。

当日は、ちょうど美東町文化研究会のイベント「肥中街道巡見」の催しがあり、多くの参加者と一緒に大峠の関所の話や石灯籠の話を聞くことができました。

文久3年（1863）長州藩が藩庁を萩から山口に移したころ、山口の防御を固めるため、ここ大峠に関所が造られたと説明がありました。

「肥中街道」による地域交流

肥中までの街道上には数カ所に文化団体があり、街道の説明をした書籍を刊行した団体もあります。

各地の団体と連携し、各地の街道関連イベントに参加したり、参加してもらったり、街道上の地域間の交流が深まることを念頭に活動を続けていくことにしています。

TOPICS トピックス 2

「子どもたちに夢を」頑張れ小森航大郎選手！

昨年秋のプロ野球ドラフト会議で、良城小（吉敷少年野球）・鴻南中出身の小森航大郎選手（上東・宇部工業高校）が、東京ヤクルトスワローズから4位指名を受けました。

小森選手自身も所属した吉敷少年野球が、指名を祝し、また今後の応援の思いを込めて懸垂幕・横断幕を作成し、良城小学校と地域交流センターに設置しました。

背番号は59に決定

11月15日(月)には入団交渉を行い、球団との仮契約を結びました。

「泥臭さや人を巻き込むプレーをみせられるようにしたい」と謙虚ながらも熱い意気込みを語った小森選手。身長172センチとプロ野球選手としては大きくありませんが、高校入学時55キロだった体重を83キロに増やすなど、50m5.9秒の俊足に、高校通算26本塁打を記録するパワーを兼ね備えた選手となりました。俊足強打の遊撃手として、将来チームの中心を担うことが期待されています。

背番号は「59」に決定しました。用意された帽子とユニフォームを着用し、これからプロになっていく自覚が増してきたとも話しました。いよいよプロ野球選手としての歩みがスタートします。

契約金で母へプレゼント

3年間、吉敷上東から宇部工業高校へ通学し、学業と野球を両立してきました。朝は6時に自宅を出て、夜は22時頃に帰宅する生活であったとのこと。そんな前向きな行動力と精神力が彼の持ち味です。

契約金の使い道について「母に車をプレゼント」と話す、家族思いな一面も。

「子どもたちに夢を」

「今度は自分が小さい子たちに夢を与えられるような選手になりたい。」と、自身の憧れの存在であるというイチロー元選手の名前を挙げ、夢を語りました。

1月から新人の合同自主トレに参加する予定。これからは、「東京ヤクルトスワローズ小森航大郎」を応援していきましょう。

地域交流センターの横断幕

TOPICS トピックス 3

吉敷バレーボールスポーツ少年団 マルキュウカップ出場！

令和3年11月21日(日)、23日(火・祝)に行われた「マルキュウカップ第36回山口県小学生バレーボール選手権大会」に、吉敷バレーボールスポーツ少年団が山陽予選を勝ち抜き、本戦への出場を果たしました。

心を一つに臨んだ大会

本戦では、6年生にとっては最後の公式戦ということもあり、今までで最高の力を出そう、思い切り声を出して試合を盛り上げよう、と団員全員が心を一つにして試合に臨みました。最初は緊張のためか、動きが硬くなってしまいましたが、諦めることなくお互いに声を掛け合っていくうちに次第にいつもの調子がでてきました。2セット目はリードする場面もあったのですが・・力及ばず一回戦敗退という結果となってしまいました。

今回勝つことはできませんでしたが、ものすごい緊張感、プレッシャーの中、全力で頑張るという経験は、日頃の生活ではなかなか感じることができない貴重な経験であったと思います。

団員募集中！

現在、吉敷バレーボールスポーツ少年団は、6年生2名、5年生4名、4年生4名、3年生2名、2年生2名、1年生1名の合計15名で、「心を一つに 最後までボールを追え」をモットーに、楽しく元気に活動しています。

指導にあたるのは、監督1名、コーチ2名で、バレーボールの技術はもちろん、挨拶や敬語の使い方、掃除の仕方などについてもしっかりと教えてくださいます。そういった生活習慣を身につけることができるのもスポ少ならではです。

6月にはVリーグで活躍しているJTサンダース広島によるバレーボール教室にも参加予定です。「Twitter」や「Instagram」でも情報を発信しています。"吉敷バレーボールスポーツ少年団"で検索してみてください。

バレーボールに興味がある子、目標を持って楽しく運動をしたい子、まずは見学に来てください！

【活動時間】水曜18時～20時、金曜17時45分～19時45分、土曜13時～16時
【活動場所】良城小体育館

TOPICS トピックス 4

神秘の蝶「アサギマダラ」と「フジバカマ」の魅力

吉敷地区環境づくり推進協議会は昨年春、良城橋下の河川敷に花壇を作り、紅白の「フジバカマ」の株を植付けました。

そして、秋には花が咲き始めると同時に、旅する蝶「アサギマダラ」の飛来が始まり、10月中旬頃には数十頭を超える乱舞が見られました。

「アサギマダラ」は、何故に多くの人を魅了し、また、神秘性に満ちているのかを、文献や諸情報等を基に語ってみたいと思います。

「アサギマダラ」の神秘性

一　旅をする蝶

秋には本州の中部高地から台湾、香港あたりまで、また春にはその逆コースの長距離を旅します。

過去のマーキングの記録では、和歌山県から香港まで、最長2，500キロ飛んだ情報があります。

春から夏にかけては本州の涼しい高原地帯を繁殖地とし、秋の気温の低下と共に暖かい生活地を求めて南方へ移動を開始します。

何故に、これほどの長距離飛行をするのか、正確な理由は不明だそうですが、自分が生存できる気温の範囲が狭く、常に適温を求めて移動をしているとの説もあります。

二　長寿命な蝶

一般的に蝶の寿命は、羽化後十数日と言われていますが、この蝶は、4～5ヶ月と言われています。

自分の一生のほとんどの時間を、旅に費やしていることになります。

三　話題性に富み、人気が高い

一般的な蝶と違って、あまり羽ばたかず、フワフワと飛び、人を恐れない姿が愛らしく感ずるのではないでしょうか。

四　秋の短い期間の風物詩

蝶は、秋の渡りの移動の途中に、上空から「フジバカマ」の香りに引き寄せられ、その蜜を求めて急降下してきます。

よって、蝶が見られるのは、「フジバカマ」の開花から花が終わる期間までの短い期間になります。

良城橋下の河川公園のフジバカマ

アサギマダラとフジバカマは相思相愛の仲♡

一　「フジバカマ」とは

フジバカマは、キク科の多年草で、自然種は希少となり、環境省の準絶滅危惧種に指定されています。

また、奈良時代の歌人「山上憶良」が万葉集で詠む「秋の七草」の中の一草としても知られており、古来より愛されてきた植物でもあります。

蕾の花尾花葛花なでしこの花

おみなえしまた藤袴朝顔の花

この植物は、開花時に「クマリン」と呼ばれる香りの成分を発しますが、これは桜餅を包む「オオシマザクラ」の葉が発する香りの成分と同じものです。

二　アサギマダラが集まる理由

アサギマダラは、フジバカマが発する「クマリン」の香りの成分に引き寄せられ、花の蜜を吸いますが、蜜の中に「ピロリジジンアルカロイド」という毒の成分が含まれ、この毒の成分を体内に取り込み、オスの性ホルモンを作り出していると言われています。

従って、フジバカマに群がるアサギマダラは「オス」に限定されます。

もしもフジバカマが存在しなければ、オスの性的成熟はあり得ず、「種」の存続が不可能となります。

また、フジバカマにとっても、自身の小さい花の受粉をアサギマダラの集団が賄ってくれるため、お互いが「種」の保存に対して相思相愛の仲にあると思われます。

吉敷の名所の一つにと…期待して活動を続けていきます

地区環境づくり協議会は過去より、カンナの植栽、不定期の草刈りなど、吉敷川河川敷公園の整備を行ってきました。

昨年は「フジバカマ」の植付け、彼岸花の球根の植え付け、花壇の新規造成など、四季を通じて季節感が味わえる景観造りを目指した活動を行いました。

今年は、フジバカマエリアの拡大、彼岸花の増植などの計画があり、河川敷公園周辺一帯が百花繚乱たる花回廊として「吉敷の名所の一つになってくれたら」を合い言葉に、会員一同頑張って参ります。

なお、一緒にボランティアとして参加できる方を募集中です。

フジバカマに寄ってきたアサギマダラ

レポート

吉敷の魅力いっぱい ふるさとまつり

11月21日(日)、第46回吉敷ふるさとまつりを開催しました。

昨年に引き続き縮小開催となりましたが、参加した多くの文化団体・学校等の魅力あふれるおまつりとなりました。

笑顔でナイスショット

11月28日(日)湯田カントリー倶楽部で、2年ぶりに「親睦ゴルフ大会」を開催しました。

再会を喜び、楽しくプレーしながら交流を図りました。

団体の部優勝　消防団Aチーム

個人の部優勝　内田 信行（木崎）

一足先に メリークリスマス！

12月8日(水)、母子保健推進員、吉敷つどいの広場「楽楽楽」が企画する子育て講座「おやこクリスマス会」を開催しました。

キャンドル立て作り、マジックショーなどお楽しみ満載。ちょっぴりあわてんぼうなサンタさんとトナカイさんもやってきて、みんな大喜びでしたよ！

2年ぶり！ YKB会を開催しました！

12月27日(月)、2年ぶりとなるYKB会を開催しました。寒～い雪の朝にも関わらず、8時過ぎには参加者が続々と会場に集まり、児童・生徒・支援者等合わせて約40名が一緒に勉強しながら、交流も楽しみました。

災害時における ペットの同行避難について

現在、日本では犬や猫が約2000万頭いるといわれています。2000万頭という数はピンときませんが、中国地方から九州の鹿児島県までの人口に匹敵するものです。

災害時でのペットの対応の過去の事例を見てみると、阪神・淡路大震災（1995年）では、犬や猫の持ち込みが禁止されている避難所が多く、その後、新潟県中越地震（2004年）、東日本大震災（2011年）などを経て状況は少しずつ好転し、熊本地震（2016年）では多くの飼い主がペットとの同行避難が可能になったようです。

そこで山口市の対応について調べてみました。

（以下、ホームページからの抜粋）

山口市の対応

「避難所では様々な人が集まり共同生活をするため、動物が苦手な人や動物アレルギーの人に配慮する必要があることから、山口市が開設する避難所では、飼い主とペットの居住スペースを分けることとしています。避難所生活においては、飼い主が責任を持ち、衛生的に管理するとともに、周りの人への配慮をお願いします。

・原則、避難所でのペットスペースは屋外となります。

・受入れ可能なペットは、飼育ケージ、キャリーバック、カゴなどに入っているペットです。

※大型ペットにつきましては、受け入れ困難です。

※身体障がい者補助犬（盲導犬、介助犬及び聴導犬）につきましては、使用の方と同伴で受け入れることとしておりますので、ご理解とご協力をお願いします。」

となっており、その他に次の2点「ペット同行避難での注意事項」「ペット同行避難の為に備えておきたいこと」も記されています。詳しくは、山口市のホームページで確認してください。

ペットは飼い主にとってはとても大切な存在です。ペットを守れるのは飼い主だけですので普段から準備やしつけなどの対策が求められます。

（吉敷地区防災会）

こんにちは！食推です

カンタン健康レシピ

吉敷地区食生活改善推進員監修

RECIPE 16

大根と豚肉のプルコギ風

水分がほどよく抜けた大根に、ごはんに合う甘辛い味つけが最高。みそ風味の甘辛味に、ニンニクと唐辛子をきかせた韓国風の炒めもの。万能ねぎを加えて彩りよく仕上げます。
プルコギとは、韓国料理の中でもポピュラーな肉料理。
韓国語で「プル」は火を、「コギ」は肉を意味します。
プルコギは、焼肉とすき焼きの中間のような料理です。

材料

【2人分】
- 大根 …… 1/2本（約500g）
- 万能ねぎ …… 6本

Ⓐ
- 豚こま切れ肉 …… 150g
- にんにくすりおろし… 小1かけ分
- 豆板醤 …… 小さじ1

Ⓑ
- 酒 …… 小さじ2
- 醤油 …… 小さじ2
- 砂糖 …… 小さじ2
- みそ …… 小さじ2
- ごま油 …… 大さじ1

作り方

1. 大根は長さを3等分に切って厚めに皮をむき、1cm角の棒状に切る。万能ねぎは根本を切り、長さ5cmに切る。
2. ボウルにⒶとⒷを入れて手でもみ込む。
3. フライパンにごま油大さじ1を強めの中火で熱し、大根を入れて3分ほど炒める。うっすらと焼色がついたらバット等にとり出す。
4. 同じフライパンに②を入れてほぐしながら3分ほど炒める。肉の色が変わったら、大根をもどし入れ、肉の味をうつすように混ぜながら炒め合わせる。大根全体に味がからんだら火を止め、万能ねぎを加えてひと混ぜし器に盛る。

【1人分】エネルギー302kcal　蛋白質10.8g　脂質32.6g
カルシウム2.3g　食塩相当量3.2g

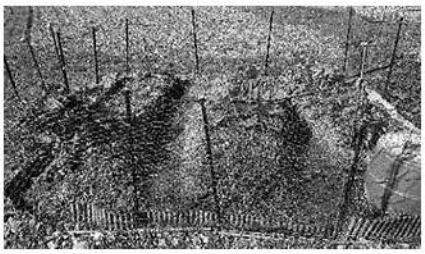
リレーエッセイ

Relay Essay 020

右田　耕人（みぎた　こうと）さん（上東）

36年前に移住して来た「吉敷団地」には付属の菜園があります。そこでサツマイモなどの野菜作りを始めましたが、本業が朝7時から夜9時まで仕事場で過ごすものとなり放置したため、雑草が生い茂って周囲の方々に多大な迷惑をかけていました。

10年前に定年を迎え、一念発起して畑づくりを再開しました。しかし、農家出身にもかかわらず、吹奏楽にうつつを抜かし、野菜作りを学んでいなかったためにうまく行きませんでした。幸いなことに団地には野菜作りの先生がたくさんおられ、それらの方々に教わりながら何とか収穫できるようになりました。



わが家の畑

そのうちにイノシシなどが作物に襲い掛かって来るようになったので、周囲に網を張り巡らせて外敵から畑を守っています。

少しでも家計の助けにと、どんなに不出来な野菜でも収穫して食しています。スーパーでキャベツの葉が捨てられているのを目にすると涙が出てきます。

作物のお世話をしていると、毎日が発見の連続です。屋外の空気にも触れることができて心が安らぎます。

皆さんも心の健康のために野菜作りに挑戦してみませんか。プランターを使ってもできますよ。

団地の皆様の畑

よしきイベントカレンダー YOSHIKI EVENT CALENDAR 1月

P.0 掲載ページ　吉敷図書館「ぶっくん」15:20～16:00　青パト運回日

1 祝	
2 日	
3 月	
4 火	
5 水	
6 木	●町内会長会 18:30～
7 金	●広報委員会 17:00～
8 土	
9 日	●市成人式 第1部 10:00～ 第2部 14:00～（受付時間）
10 祝	●子ども会どんど焼き 9:00～
11 火	
12 水	●あいさつの日 ●育児相談 13:30～14:30（受付時間） P.2
13 木	
14 金	
15 土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
16 日	
17 月	●子育て講座「ベビーマッサージ」 ①10:00～ ②11:15～ P.2
18 火	
19 水	
20 木	
21 金	
22 土	
23 日	
24 月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00 ●吉敷ペタンク同好会練習 9:00～ ●ブックスタート体験会 ①10:00～12:00 ②14:00～16:00
25 火	
26 水	●楽楽楽「みそ作り」 10:30～12:00 P.2
27 木	
28 金	●子育て講座「絵本を楽しもう」 10:00～11:30 P.2 ●楽楽楽「節分あそび」 10:00～11:30 P.2
29 土	
30 日	
31 月	●吉敷ペタンク同好会練習 9:00～

2月のおもなイベント

1 火	市・県民税申告相談受付（吉敷会場） 9:30～16:00 P.2
6 日	県知事選
7 月	あいさつの日

かけはし

「よしきだよりへの思い」

私は、ふるさとだより「よしき」リニューアルバージョンの編集に携わらせていただいて、6年になると思います。その間、様々な吉敷人に取材をさせていただき自分なりに記事にして、月に一度の編集委員会にて、地域づくり各部会から選任された編集委員へ目を通して頂き、自分の記事に対しての所感を基に、また記事の練り直しを行い登載する作業をボランティアで続けています。地元の広報紙に地元の記事を吉敷人が編集し紙面に仕上げる「手作り感」が何とも言えない連帯感を味わえています。

本年度初頭から、より読者の方の参画を求め「読者発なんでも広場」というコーナーも新設して投稿を待ち受けています。今のところ読者からの投稿数はそんなに多くはありませんが、些細な事でも結構なのでふるって投函をお願いできたらと思います。

その情報発信が吉敷地域に広がり、より地域や人を知ることに繋がり、やがて地域の特色を理解するきっかけとなると思います。この度そのような思いにより、地域に広報委員として出向いて、よしきだよりに対する読者の皆様からの感想などを聞かせて頂こうと思っています。

インターホン越しに「よしきだよりの広報委員ですが！」と聞こえましたら、ご協力よろしくお願い致します。

広報委員　植野伸一

[発行・編集]
吉敷地区広報委員会（〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号）
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター（地域担当）
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター（行政窓口担当）
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
https://www.yoshikibito.com/
吉敷地区地域づくり協議会　検索